

咽頭結膜熱流行発生警報発令！

～定点当たり3.00人を超えました！～

川崎市で実施している感染症発生動向調査では、毎週、37施設の小児科定点医療機関から患者の発生状況を報告いただいています。

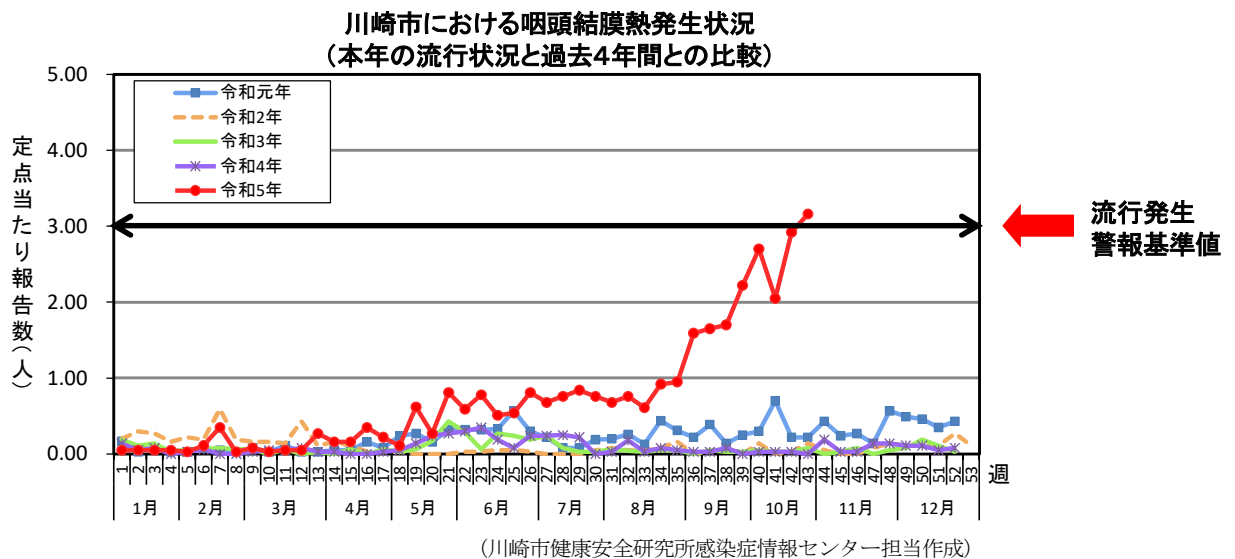
咽頭結膜熱の患者報告数は令和5年第36週以降急激に増加しており、令和5年第43週（集計期間：令和5年10月23日～令和5年10月29日）の患者報告数が流行発生警報基準値（定点当たり3.00人）を超え、定点当たり3.16人となったため、流行発生警報を発令します。

例年患者報告数は6月～8月の夏季に増加しますが、近年は冬季にも流行がみられます。保育園などでは集団感染が起りやすいため、手洗いの徹底により予防をお願いします。

1 本市における咽頭結膜熱流行状況

本市において流行発生警報基準値を超えたのは、平成18年第28週以来17年ぶりです。

令和5年4月以降、咽頭結膜熱として4検体が健康安全研究所に搬入されており、その内訳はコクサッキーウイルスA2型が1検体、ヒトヘルペスウイルス6型が1検体、RSウイルスB型が1検体、アデノウイルス3型が1検体となっています。



2 過去4週間の定点当たり患者報告数

第39週（9月25日～10月1日）：2.22人

第40週（10月2日～10月8日）：2.70人

第41週（10月9日～10月15日）：2.05人

第42週（10月16日～10月22日）：2.92人

《問合せ先》

川崎市健康福祉局保健医療政策部

感染症対策担当 小田

電話 044-200-2446

流行中！咽頭結膜熱の対策をしましょう！

咽頭結膜熱ってどんな病気？

- ◇ 発熱、咽頭発赤、結膜の充血を主とするウイルス性の感染症です。
- ◇ 例年夏季に流行し、近年は冬季にも流行がみられます。
- ◇ 保育園や幼稚園では集団感染が起こりやすいため、特に注意が必要です。



【症状は??】

- ◇ 感染してから5～7日後に発熱で発症し、頭痛、食欲不振、全身倦怠感とともに、咽頭炎による咽頭痛、結膜炎による結膜充血、目の痛みなどが3～5日程度続きます。
- ◇ 乳幼児や高齢者、免疫機能が低下した方では、重症化する場合がありますので注意が必要です。

【感染経路は??】

- ◇ 飛沫感染 … せきやくしゃみの飛沫による感染
- ◇ 接触感染 … 眼をこすった手や目やになどの分泌物からの感染

【治療法は??】

- ◇ 特別な治療法はありませんので、症状に応じた治療となります。
- ◇ 脱水症状を起こさないよう**水分**を十分に与えましょう。
- ◇ ほとんど自然に治りますが、**吐き気、頭痛が強いとき、咳が激しいとき**などは、すぐに医療機関を受診しましょう！

感染を予防するためには、手洗いの徹底を習慣に！

- ◇ 患者との密接な接触を避けてください。
- ◇ **水と石鹸で手洗い**をしっかりと行うことが重要です！
※タオルの共用は避けてください。
- ◇ 症状の有無に関わらず、**日頃から手洗いを習慣化**し、特にトイレの後、おむつ交換の後、食事の前にはしっかりと手を洗うことが大切です。



参考：国立感染症研究所ホームページ 「咽頭結膜熱とは」

厚生労働省ホームページ 「咽頭結膜熱について」